

令和4年度 第2回 松山市子ども・子育て会議  
地域子育て部会 会議録

1. 日時

令和5年1月31日（火）10:00～10:30

2. 場所

松山市青少年センター 1階 大会議室

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員（8名）（五十音順、敬称略）

一色芳枝、井上もと子、白松賢、友川礼、村岡則子、安永耕造、山下純子、和田真由子

(2) 事務局

子育て支援課、保育・幼稚園課、子ども総合相談センター事務所

4. 傍聴の可否

可（傍聴者0名）

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 審議事項

「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて

～地域子ども・子育て支援事業（養育支援訪問事業その他要支援児童、  
要保護児童等の支援に資する事業）部分（地域子育て部会）～

(3) 閉会

6. 配布資料

・次第

・委員名簿

・配席図

・資料1 第2期松山市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

～地域子ども・子育て支援事業（13事業）部分～（地域子育て部会）

・資料2 養育支援訪問事業その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業  
の見直し（案）に関する各委員からの意見について（地域子育て部会）

## 会議録

### 1. 開会

#### ・事務局

それでは、ただ今から、令和4年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会を開会させていただきます。

本日の部会につきましては、委員総数10名のうち、8名のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、松山市子ども・子育て会議条例の規定により、これより先は、村岡部会長に進行をお願いいたします。

村岡部会長、よろしくをお願いいたします。

### 2. 審議事項

#### ・部会長

みなさま、おはようございます。

本日は、事業計画の見直しについて、皆様からの意見を受け、事務局がとりまとめた資料を、説明していただくことになっております。

今回で、部会としての見直し（案）を決定したいと思いますので、ご意見は頂戴しながらも、スムーズな議事進行へのご協力よろしくをお願いいたします。

それでは、さっそくですが、(2) 審議事項について、事務局から説明をお願いします。

#### ・事務局

～事務局から、資料1、2に基づき審議事項について説明～

#### ・部会長

ありがとうございます。事務局の説明は終了となりました。

見直し（案）と、各委員から提出された意見に関する説明でございました。

事務局の説明について、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(質問なし)

それでは、冒頭申し上げたとおり、この部会の決定が、子ども・子育て会議全体の決定となります。事務局（案）を承認することによりよろしいでしょうか。

(異議なし)

では、異議なしということで進めさせていただきます。

以上で、本日の議事はすべて終了となりましたが、これまでの議題を通しまして、何か改めて質問、そしてご意見ご感想等ありましたら挙手をお願いいたします。

今年度最後の会議ですので、頂戴した意見は今後の検討材料ともなり得ますので、ぜひ一言頂きたく思います。

- ・ 委員

市としての考え方の説明ありがとうございました。平成 27 年度から確実にセンター事務所の職員数が増えているということ自体は大変心強かったのですが、実際増えている職員というのは、正規雇用なのかどうか。会計年度職員等の職員数を単純に増加していることではなくて、正規というのを一つご検討いただけるのかが今後の提案です。

もう一つ、全国的にですが、要体協を司るところの職員が疲弊されております。理由の一つは、スーパーバイズ体制が十分でないということと、経験の浅い社会福祉職一年目の採用された者が、最前線に立ちケースがうまく回せないというような、せっかく正規で雇った専門職がスーパーバイズ体制がないことによって早期に休職されるというのが全国的にございます。非常にニーズが集中しているというのは今回のデータで分かったのですが、それを対応されている市の方が、おそらく大変な状況ですが、雇用形態、スーパーバイズ体制も踏まえた人員体制というのをご検討いただければ大変心強いかなと思います。

- ・ 部会長

事務局、いかがでしょうか。ちなみにここでは、職員数が増えたということですが、雇用体制はいかがでしょう。また、スーパービジョン体制はどのようになっていますか。

- ・ 事務局

正規職員の数が増えております。

- ・ 部会長

スーパービジョンの体制は。

- ・ 事務局

外部の先生に委託をしておりますが、ストレス等一定数の職員の疲弊はありますので、全てを補うことはできないですが、内部研修の強化で体制づくりは構築しています。

- ・ 部会長

ありがとうございました。継続して検討し、さらに職員のスキルアップを目指していただきたいところです。他にありませんか。

- ・ 委員

先日、フリースクール講演会があった時に、私たち地域のボランティアがりましたが、ボランティアの地域力が少し弱まっているのかなと感じております。それは私たちも考えていけないことだと思うのですが、地域の会に行っても、あまり余計なことは言わない方がいいとか、以前は結構大人が注意してきましたが、注意したことによって反発され、あそこに言われたとか、そういったことで今余計なことは言わない方がいいということが、地域の言葉です。厚生部女性会でも毎年 1 回集まりますが、以前は学校の校長先生も来て、こういうことを子どもに注意してください、というお言葉があったのですが、今はいいよいよと認めていく社会の情勢になっているのを感じます。ターゲットになった子どもについてはこのような支援体制

がありますが、本当に困っている人の状況を地域の人たちが知っていても、それをどこにもっていけばいいのか、疑問に感じています。

- ・ 部会長

事務局としても対策はなされているかと思いますが、今後の課題としては、さらなる連携強化をテーマに検討していく必要があると思います。

不登校の子どもたちや発達障がいに関心する保護者や子どもたちはたくさんいます。また、ボランティアの力というのがコロナ禍もあってより弱体化しているということも言われています。本来なら、行政はもちろん民間のボランティアを活用し、不登校の人たちに対して例えばメンター制度を導入していきながらサポートしていくなど。公的なサービスを利用するだけでなく、民間のボランティア等の社会資源を駆使しながら、いかに子どもたちをサポートしていけるか、引き続き検討を共にやっていきたいと思っています。

- ・ 委員

長い間、公民館の館長をしていましたが、最終的にはボランティアや地域には限界があります。どこまで突っ込んでいいのか、突っ込みすぎると逆に一生懸命頑張った人の方に迷惑がかかると。先程もありましたが、ボランティアは素晴らしいと思いますが、限界があります。そういう教育をしてきたのだから仕方がない。ボランティアにお願いしても、色々なことに対して非常にうまくいくケースといかないケースがあり、非常に難しいと思います。

- ・ 部会長

ボランティアに限らず、いかにフォーマルとインフォーマルを駆使しながら、継続してサポートしていけるかというのが今後の課題ではないでしょうか。また、教育ですね、福祉教育の充実も関係してくるでしょう。

- ・ 委員

「支援が必要な子どもをアウトリーチ型の支援につなぐ」とありますが、今一番支援が必要な子どもたちはむしろ地域から切り離された発達支援の場というところで、発達支援を受けるケースが増えてきています。やはりそういった発達支援事業所というのが今松山市内はたくさん増えてきていて、保育園、幼稚園に日常生活の場がありながら、週3回そういった場に通っていくといった形で、生活の場から切り離されている現状が松山市の課題でもあります。こういった「現在の支援体制を活かした実効性のある方法」に期待をしたいなと思っています。

ふらっとが昨年4月にできて、学校に行っていない子どもが、下の児童館に遊びに来た後、上に上がってきて話をして帰るということがあります。連携というところでもう少し学校や各機関との連携が必要だなと感じています。

本人が学校に行くのを望まなかったりするので、本人を含めながらまた一緒に考えていけたらなと思っています。

- ・ 委員

初めてこういった会議に参加して、子育て支援の施策がこんなにたくさんあって、それに関わられる方だけでなく、色々な方面からサポートがあり、アドバイスがありの中で生まれてきているのだなというのをすごく勉強させていただきました。こういう会議に参加したからこそ、広報などで子育て支援があればQRコードとかどんな形でどんな風にみんなに伝わるようになってい

るんだらうとか、ホームページでどんな風に紹介されているんだらうとか、そういうことにも興味を持って開けてみたり見たりするようになりました。今日の会議のように率直な意見を聞いて拾い上げていただいた上でできた施策であったりというのが、どんどん盛り込まれていく会議であったらもっと充実感というのものもあるんじゃないかなと、一市民として思いました。ですので今日、色々な委員の方が発言されたことがすごく耳に響きましたし、子育て支援に携われる何かがあれば、またこれからも耳を傾けていきたいなと思います。

- ・ 部会長

ありがとうございました。貴重なご意見頂戴いたしました。この会議は一堂に会してさまざまな立場の方々が集まります。ここでの皆さんのご意見が、今後の政策の検討や課題の発見に繋がっていくことと思いますので、ぜひ今後も引き続き積極的なご意見を頂戴できればと思います。

- ・ 委員

私は今、小学校に勤めていますが、学校の存在というものを身が引き締まる思いで委員の方たちのお話を聞いておりました。学校は非常に力を持っていると私は思っています。例えば発信力。先日、校長会がありまして、松山市の方から、こういう施策をしていますとの事務連絡がございました。その中の一つに、中学生に勉強を教えていると、そういうシステムを作ったので、ぜひ子どもたちに紹介してください、というご案内でした。学校を通して色々発信すると、すごく発信力があるかなと思います。今回このような会に出て、私もたくさん松山市が色々していることを改めて知りました。校長会というのは、非常に発信力を持っておりますので、そういう場に来ていただいて、ぜひ松山市の方がこういう施策をしていますというのを広報されてはどうかと感じました。

もう一つは連携というところで、お話を聞きながら非常に頑張らないといけないと思った次第です。学校は地域とはもちろん、保護者と連携しながら学校運営しています。地域の力を借りなければ学校運営できないということもございます。地域と学校はどんどん連携していかないといけないですが、保護者の世代になるとまた少し考えが変わっていて、先程話がありましたように、ちょっと言いにくいような世代となっているような気がします。学校と地域と保護者、それから色々な関係機関ときちんと連携を取りながら、一つ一つの課題に対して取り組んでいきたいと思っておりますので、もっと学校を頼っていただいていた方がいいのかなと思っています。

- ・ 部会長

ありがとうございます。非常に心強いご意見頂戴しまして、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。皆様方からの今回、頂戴したご意見や感想など踏まえ、今後に反映したく思ひます。ありがとうございました。

議事は以上でございますが、続いて「連絡事項等」について、事務局から説明をお願いします。

### 3. 閉会

- ・ 部会長

それでは、以上をもちまして、本日の全ての審議を終了とします。事務局にお返しします。

- ・ 事務局

村岡部会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、「令和4年度第2回松山市地域子育て部会」を閉会いたします。

す。委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

なお、この後、10分間の休憩の後、この場所にて全体会を開催いたします。委員の皆さま方は、会場のレイアウト変更を行うため、大変申し訳ございませんが、しばらく会場の外でお待ちください。準備が整いましたら、改めてご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(了)